

第124回
定時株主総会

対処すべき課題

2024年6月20日

株式会社リコー

代表取締役 社長執行役員 CEO

大山 晃

三愛精神
の実践

愛を
愛し
愛す
勤めを
愛す

多様なお客さまの
“はたらく”に
寄り添い続ける



“はたらく”の変化


RICOH
imagine. change.

はたらく
環境
の変化

はたらく
人
の変化



変わりゆく“はたらく”に寄り添い、
はたらく人の創造力の発揮を支える
デジタルサービスの会社へ



デジタルサービスの会社への変革と 企業価値の向上

デジタルサービスの会社への変革

2025年度にはデジタルサービスの売上高比率で60%超を目指す





リコーが目指すのは
グローバルなワークプレイスサービスプロバイダー

注力領域とリコーの強み

注力領域

ビジネスプロセスオートメーション
業務プロセスのデジタル化

コミュニケーションサービス
効果的なコミュニケーション
環境の構築

ITサービス
デジタルサービスの基盤



リコーの強み

顧客基盤



顧客接点



自社IP*



*自社IP(Intellectual Property): 企業が自らの
努力で生み出したソフトウェアなどの知的財産

各領域で成長を加速

これまでの進捗

今後の展望

ビジネスプロセス オートメーション

買収・提携を通じドキュメント・デジタル
プロセス領域の提供価値を強化



自社ソフトウェアを基軸に
AI、プロセス自動化などの
提供価値を深化

コミュニケーション サービス

「働く空間」をグローバルで提供するため、
買収や自社開発を通じてサービスを拡充



提供能力強化による
マネージドサービスの加速

ITサービス

ITインフラ構築、クラウド環境などのインフ
ラサービスの提供



収益性・インテグレーター
能力を強化



経営資源を成長領域に集約し、
企業価値向上を実現

企業価値向上プロジェクトの全体像

本社改革

R&D
適正化
(リソースのシフト)

間接機能
適正化

事業の
「選択と集中」
の加速

オフィス
プリンティング
事業の構造改革

オフィスサービス
利益成長の加速

SCMの最適化

販売・サービス体制の見直し



今年度は収益構造変革各施策の 「遂行」の一年



持続的な成長に向けて

ESGと事業成長の同軸化

- ESGへの取り組みは事業における将来の機会の獲得・リスク回避につながる「将来財務」
- 財務とESGを同軸とした経営目標を掲げ、社会課題解決への貢献をさらに強化
- 人的資本の強化においては、自律的成長を後押しする人事制度を展開



ESG関連外部評価

- 2023年11月 「第5回日経SDGs経営調査」で5年連続最上位の星5に認定
- 2023年12月 Dow Jones Sustainability World Index(DJSI World)」の構成銘柄に4年連続で選定
- 2024年1月 世界で最も持続可能な100社「2024 Global 100」に選定
- 2024年2月 CDPの企業調査において「気候変動」「水セキュリティ」の2分野で最高評価の『Aリスト』企業に選定
- 2024年3月 MSCI ESG格付けにおいて最高評価「AAA」を獲得



付加価値を生み出すのは、やはり

「人」



社員自身が充足感、達成感、自己実現を実感することで、
事業の成長へとつなげる

1

社員の潜在能力の
発揮を促す

たとえば
デジタル人材教育・
DEI(*)・柔軟な働き方・
グローバルでの
人材活用

2

個人の成長と
事業の成長の
同時実現

人的資本への
投資が企業価値
向上につながる

3

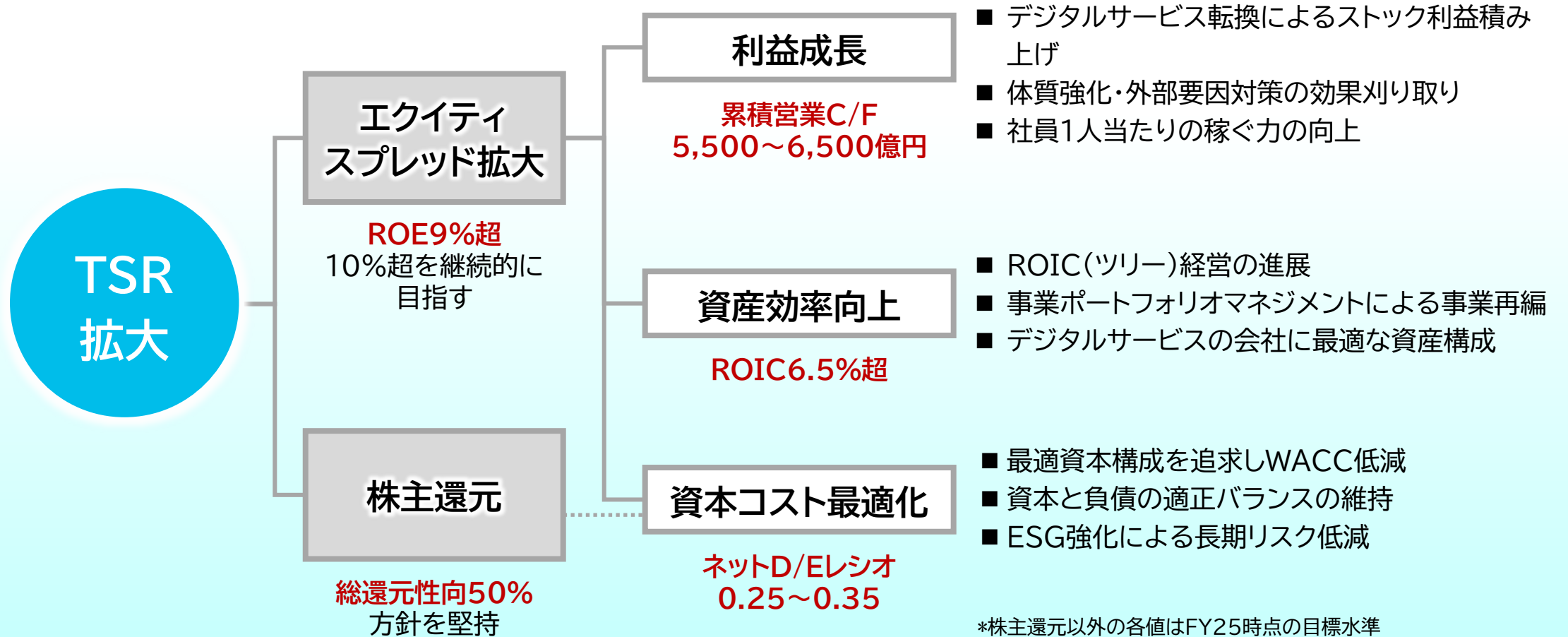
社員の
“はたらく喜び”
につなげる

*DEI=Diversity(多様性),
Equity(公平性), Inclusion(包
括性)



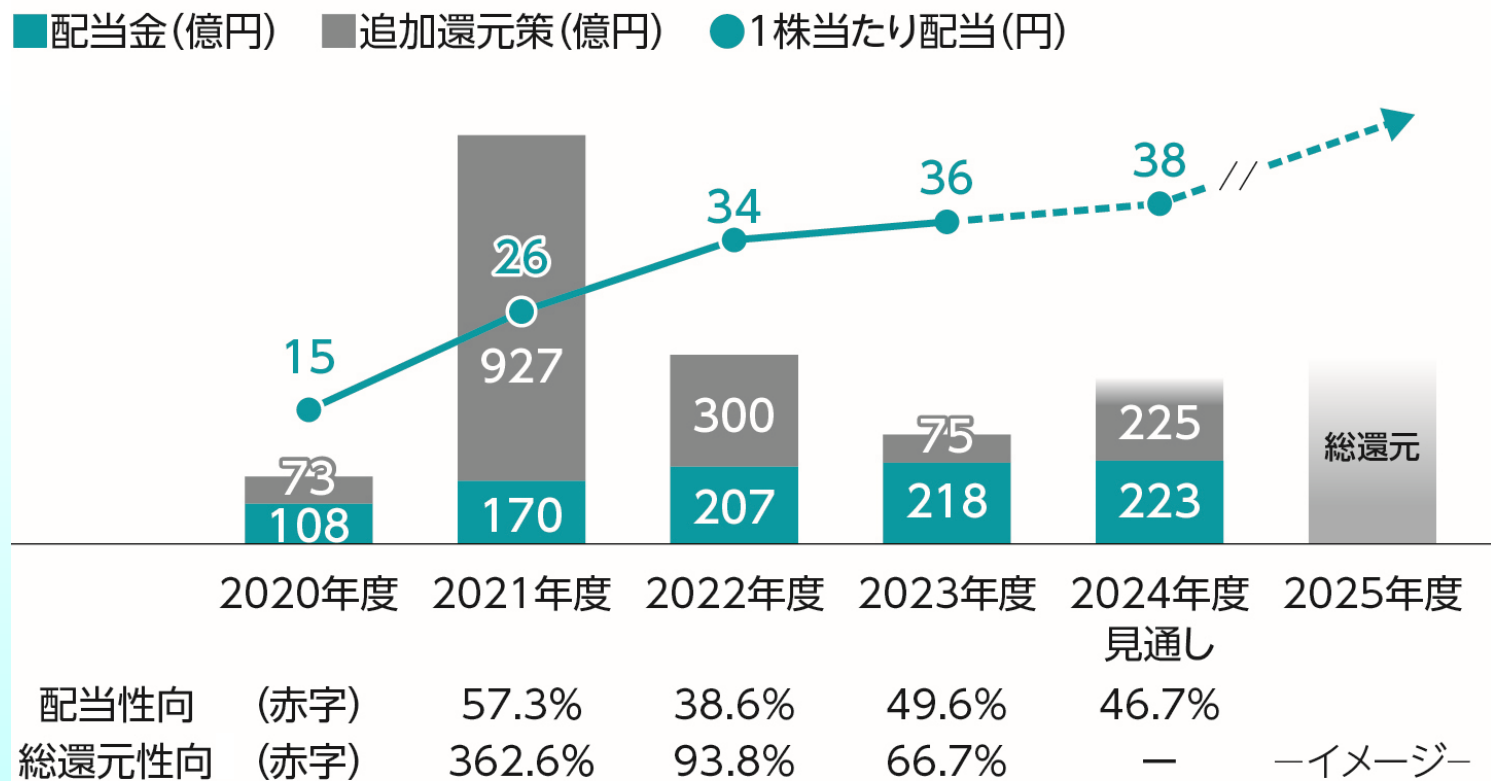
株主価値向上に向けて

TSR拡大を通じた株主価値・企業価値の向上



株主還元方針

総還元性向(目安50%)の方針は堅持、継続的な増配と機動的な追加還元策によるTSRの向上



還元方針

総還元性向の目安50%

配当

配当利回りを勘案した継続的な増配を目指す

追加還元策

最適資本構成をベースに経営環境や成長投資の進捗を踏まえながら機動的かつ適切なタイミングで実施



最後に

“はたらく”に歓びを

“はたらく”に寄り添い 変革を起こしつづけることで、
人ならではの創造力の発揮を支え、
持続可能な未来の社会をつくります。

RICOH
imagine. change.